

EXECUTIVE INTERVIEW

経営者インタビュー

ツイート

10

0

人生の物語を輝かせる
美容福祉のフロンティア

Mixup!! 代表 宮本治

時東 Mixup!!さんは瘦身、フェイシャル、デザイン脱毛専門のエステティックボディサロンということですが、宮本代表はどんなきっかけでこのお仕事を始められたんですか？

宮本 大学で心理学を学んで「美容福祉」という分野に興味を抱いたのが始まりでした。たとえば化粧には、気分を高めたり、落ち着かせたり、他人から見られるようになることで気持ちをポジティブにできる効果があります。美容のこうした効果を、障害者や高齢者への福祉にも取り入れようというのが美容福祉です。

時東 非常に興味があります。お化粧やエステは女性だけのイメージがありますが、違うんですね。

宮本 私は、やるなら老若男女を問わずやりたいのです。それで、経験を積める大手のエステ会社で幅広い年齢層のお客様を担当しました。その中に結婚、男性のお客様がいらっちゃったんですよ。

時東 男性でエステを受ける人が、当時からいたんですね！

宮本 はい。もともと、ニキビや肥満を解消する産業は昔からあって、ただ、お客様にとってはコンプレックスだから表に出なかっただけなのです。それが最近、美容の様々な効果を目的とした男性エステも、身だしなみの一つとして捉えられるようになってきました。

時東 それから今のように独立して始められるまでは、どんな経緯で？



自宅サロンの様子。最新ベッドの他にエステ用の設備がある。

宮本 今もお世話になっている方の紹介で、メンズエステを立ち上げようと言われていた方の会社に入ったんです。そこで働きながら自分で出張エステも始めて、施術ベッドを入れて自宅にもお客様をお迎えするようになりました。美容福祉の学会に6年間参加したり、お客様を開拓したりするなど準備を続けて、本格的に独立したのが今年2012年の8月です。

時東 しっかりお客様を開拓されていたら、営業量は苦勞されなかったでしょう。

宮本 いやいや、待つだけでなく攻めようと思って、バーやイベントブースの一角を借りて、その場に合わせて考案したマッサージを提供して、営業活動をしていましたよ。相手側の集客や売り上げに貢献でき、私の価値も上げられますからね。今は老人ホームにも営業活動に行っています。



インタビュー 宮本治(ミキップ!!)

EXECUTIVE INTERVIEW

経営者インタビュー

Mixup 代表 宮本浩

人生の物語を輝かせる 美容福祉のフロンティア

ツイート 0

いいね 0

0

時東 行動派ですね！ 積極姿勢が好印象です。お客様は、どういってお悩みの方が多いですか。

宮本 男女によって違いますが、基本的に「やせたい」「キレイになりたい」「リラックスしたい」ですね。いっぺんに言われることもありますけれど(笑)。

時東 さすがに、いっぺんは無理ですか(笑)。

宮本 というよりも、それらは一つの症状ですから、お客様が本当に必要としている施術を会話やお体の状態など様々な方向から引き出しながら、アプローチしてあげたいのです。たとえば「ヒゲをなくしたい」という男性がいて、お話を聞いていくと「教師になりたい」と。人前が出る仕事だから外見への意欲が高いわけです。そこで、脱毛をするだけでなく、教師になるためにここでできることを探してお客様のストーリーを再構築していくうちに、「こういう教師になりたい」と、夢に描く教師像が具体的にようになってきたんですよ。



時東 素敵！ 外見が美しくなることで、人生に前向きになれたんですね！

宮本 そういった体験が何度もあります。私は、この分野に非常に可能性を感じています。たとえば高齢者に向けては、要介護にならないための予防ケアの役割も果たせるほどですから。

いっぽうで、「美容福祉」という言葉は別の言葉で表現したいと思っています。もっと一般に懂られる職業イメージにできればなおいいと思うので、エステ以外にヘアメイク、ネイル、ドレスアップも学べる世界唯一のエステティック教育専門国際組織であるINFAの「インターナショナル・エステティシャン・ゴールドマスター」の資格も取りました。



美容福祉の専門家のノウハウを、実践に活かせるアプローチを学ぶ

時東 資格で箔を付けるのも、職種のイメージを変えるいい方法ですよ。



宮本 同じことがお客様にも言えると思うので、施術したところだけ写して「術前～術後」みたいにするのではなく、昔は着れなかった服を着たり、今の自分ならではの服を着飾ったりして、成長したストーリーが見える姿を写真として残していきたいと思っています。それが私の考える美容福祉の一つの形なんです。

ただ、この分野でプロになったからといって、就職先を料装できるほどの体制ができていないのが課題です。やりがいと生活のバランスが取れていないんですよ。そのあたりの充実もフロンティアとしての私の仕事だと思っています。

時東 ぜひ頑張ってください！ 今後は、どのような展望をお持ちですか。

宮本 自分のエステ技術を磨きつつ、もっと人が輝き、成長できるツールを求めながら、協会や教育機関なども作りたいです。「美容福祉」という職業名ももっとみんなに懂られるものに変えて、活躍の場を作り、素晴らしさを伝えていければと、自分を助けてくださった方々への恩返しのためにも、頑張りたいと思います！